

特集2

健康経営®で 選ばれる企業になる

近年、経済産業省が企業を顕彰する「健康経営優良法人」の認定が、社員が長く働き続ける上で指標の一つとなっている。企業が社員の健康を守ることで、どのようなメリットがもたらされるのだろうか？

取材・文 稲泉 連

いないずみ・れん 1979年東京都生まれ。ノンフィクションライター。早稲田大学第二文学部卒業。『ぼくもいくさで征くのだけだー竹内浩三の詩と死』で第36回大宅壮一ノンフィクション賞受賞。近著に『廃炉―敗北の現場―で働く誇り―』（新潮社）がある。

「健康経営®」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

CASE 1

社員が笑顔で働く環境を 整えることが私の使命

タマノイ酢株式会社

【会社概要】▷創業＝1907年 ▷事業内容＝醸造酢、粉末酢、各種調味料、レトルト食品および菓子・健康飲料などの製造・販売 ▷従業員数＝250名 ▷所在地＝大阪府堺市

未利用者は賞与減額!? 社内ジム設置の経緯

大阪・堺市にあるタマノイ酢の本社ビルには、就業時間中に社員がいつでも利用できるジムが設置されている。昼食後の一三時過ぎ、そのジムを訪れると、若手社員に混じって汗をかく播野社長の姿があった。モ

粉末酢「すしのこ」やビネガードリンク「はちみつ黒酢ダイエット」など、数々のヒット商品を生み出してきた老舗の酢メーカー・タマノイ酢。心身ともに「健康に働ける環境を作りたい」という播野社長の想いが、健康や体に良い商品づくりにつながっている――。



代表取締役社長
はりの 播野 勤

本社内のジムにて。自転車型トレーニング器具を楽しそうに漕ぐ播野社長（撮影 編集部）